

閑静な住宅街、東京・代官山の一角にしゃれたサロンバーがある。そんな話を聞いて出かけてみた。四月中旬にオープンした「代官山サロン カイ」だ。

看板も出ていない一軒家なのでちょっと見つけにくい。店舗というよりデザイナーの住居を思わ

せる造り。ドアを引くと木を中心とした自然感覚の静かなバーが目に入る。開店以来の常連だという主婦が一人、カウンターでくつろいでいた。バーといえはまだまだ

男性客が中心。ここは女性の一人客が多いと聞いて驚いたが、その要因はバーや地下のラウンジだ

後、好みのカクテルを一杯口にして帰宅する。これまでも、エステ帰りにカフェでおしゃべりを楽しむ女性同士の姿を見かけることは多々あったが、バーで一人グラスを傾けるというのは、なんだか米国の都市の女性たちのようだ。

こんな景気であっても変わらずに、ブランド品を買い集めたり話題のレストランを回ったりする元気な女性の姿は目につく。しかし一方で、安らぎの時間と空間にお金を使つた人たちも確実に増えている気がする。

恋人や女性の仲良しグループというよりも一人になれる空間、そしてくつろげるサービスを求める。それほど女性たちの日常は、スピードと緊張で満たされてしまったのだろうか。

五千円の手の基本コースなどでリラックスした

くつろぎの需要



ウーマン アイ

「食チャネル」プロデューサー 矢幡 聡子

〓おわり